

# 神戸市摩耶山の蛾類採集目録

岡村 八郎

はじめに、

六甲山の西部に続く摩耶山(標高約700m)は六甲山系の中でも特にシイやアカガシの繁茂した暖温帯極相林に包まれている。

私は1967~1969年の頃、南側にあるケーブル摩耶駅(標高450m)とロープウェー山上駅(標高690m)及び売店にある水銀灯、蛍光灯を拠点として、日没より最終発の21:00まで、それらに飛来する蛾を主に採集した。しかし以後ロープウェーは日没後の運行を中止したので夜の採集を断念した。

1984年、7月20日より8月末までは、ロープウェーが20:30まで運行すると聞き、8月後半から夜の採集を再開した。しかし、9月から11月20日まではロープウェーの運行は19:00までで、9、10の2ヶ月は明かるすぎるので採集をあきらめ、11月は日没がほぼ18:00なので18~19:00の間、数回採集を行った。しかし1985年からはロープウェーの運行は春、秋ともに18:10までになり、冬期は更に早くなった。そのため今後数年は摩耶山頂の夜間採集は夏季8月以外望めなくなった。

摩耶山の蛾類については田中蕃氏が1966年に「神戸市摩耶山に産する若干の蛾類」、1967年に「神戸摩耶山に産する大蛾類」として1961~1963年の立派な採集目録を発表している。(後尾、文献の部参照)。また遊磨正秀氏が1973年に「六甲山地域の蛾類I、II」として摩耶山の蛾類を含めてまとめている。(文献の部参照)。

しかし摩耶山はもとより、六甲山系に関する蛾の目録がこの数年発表されたのを知らないのが不十分なのを承知で、私の現在までの採集標本の記録を簡単な形で列記する。

講談社の「日本産蛾類大図鑑I、解説編」を参考にして、なるべくその目次の順序に従ったが、小型の種で不詳のものはどんどん割愛した。又数回にわけて記載しては同好者をあきさせるので、科、亜科、種については和名を列記し、私が興味を持ったや、珍しい種にのみ学名、データ、説明等をつけた。

なお前述の田中蕃氏の「神戸摩耶山に産する大蛾類」にないものには○印、遊磨正秀氏の「六甲山地域の蛾類I、II」にないものには◎印をつけた。○、◎、又は両印のついたものは両氏の記録をや、補足したもの

と理解されたい。

## コウモリガ科

1. コウモリガ

## ボクトウガ科

1. ゴマフボクトウ

## ハマキガ科

1. ウストビハマキ *Pandermis chlorograpta* Megrik

## マダラガ科

ミノウスバ亜科

1. ミノウスバ

ホタルガ亜科

1. ホタルガ
2. シロシタホタルガ
3. ウスバツバメガ

## マダラガ亜科

1. キスジホソマダラ

## マドガ科

アカジマドガ亜科

1. アカジマドガ

## メイガ科

ノメイガ亜科

1. シロオビノメイガ *Hymenia recurvalis* Fabricius
2. オオキノメイガ *Botyodes principalis* Leech
3. クロスジキンノメイガ *pleuroptya balteata* Fabricius
4. ホソミスジノメイガ *Pleuroptya chlorophanta* Butler
5. コブノメイガ *Cnaphalocrocis medinalis* Guenée
6. フチグロノメイガ *Palatalanta ussuralis*

## Bremer

7. ウスイロキンノメイガ *Pleuroptya brevipennis*

Inoue

8. クロヘリノメイガ *Sylepta fuscomarginalis*

Leech

9. モンシロルリノメイガ *Uresiphita tricolor*

Butler

10. モンキクロノメイガ *Herpetogramma**luctuosalis* Guenée11. マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunct-**alis* Bremer12. マメノメイガ *Maruca testulatis* Hubner13. クロスジノメイガ *Tyspanodes striata*

Butler

14. モモノゴマグラノメイガ *Conogethes punctif-**eralis* Guenée

## フトメイガ亜科

1. オオフトメイガ *Teliphasa amica* Butler2. ナカアオフトメイガ *Teliphasa elegans*

Butler

3. ナカムラサキフトメイガ *Craneophora ficki*

Christoph

## シマメイガ亜科

1. ウスオビトガリメイガ (ヘリグロトガリメイガ)

*Endotricha consocia* Butler

## マグラメイガ亜科

1. マツノシンマグラメイガ *Dyoryctria sylvest-**strella* Rotjeburg

## カギバガ科

1. スカシカギバ

2. ウスギヌカギバ

3. クロスジカギバ

## トガリバガ科

1. アヤトガリバ

2. モントガリバ

3. ホソトガリバ

4. ナカジロトガリバ

5. ムラサキトガリバ

## シャクガ科

## ホシシャク亜科

1. ウスバフユシャク

## アオシャク亜科

1. オオシロアヤシャク

○2. コアヤシャク *Pingasa pseudoterpnaria*

Guenée 27. VIII. 1967.

3. オオアヤシャク

4. ウスアオシャク

○5. アシプトチズモンアオシャク *Agathia curvi-**finiens* Prout

6. カギバアオシャク

○7. ヒメカギバアオシャク *Mixochlora vitata*

Moore 27. VIII. 1967.

○8. キマエアオシャク *Neohipparchus rallata*

Butler 3. VIII. 1968.

○9. ヨツモンマエジロアオシャク *Comibaena**procumbaria* Pryer 18. VIII. 1984.○10. クロモンアオシャク *Comibaena**nigromacularia* Leech 26. VI. 1968.○11. コヨツメアオシャク *Comostola subtiliaria*

Bremer

○12. アカホシヒメアオシャク *Comostola**rubripunctata* Warren

## ヒメシャク亜科

1. フタナミトビヒメシャク

○2. ナミスジチビヒメシャク *Scopula personata*

Prout 8. XI. 1984.

○3. モントビヒメシャク *Scopula medicaria*

Leech 5. IX. 1967.

○4. ウスキヒメシャク *Idaea biselata* Butler

1. IX. 1968.

○5. オオウスモンキヒメシャク *Idaea**imbecilla* Inoue

## ナミシャク亜科

1. ハコベナミシャク

○2. ウスベニスジナミシャク *Esakiopteryx*21. IV. 1968. *volitans* Butler○3. シロホソスジナミシャク *Microlygris**multistriata* Moore 14. IV. 1968.

4. シロシタトビイロナミシャク

○5. ナカオビアキナミシャク *Nothoporia*

mediolineata Prout 8. XI. 1984.

- 6. キアミメナミシャク *Eustroma aerosum*  
Butler 14. IV. 1968.
7. オオハガタナミシャク
- 8. ホソバナミシャク *Typloptera bella*  
Butler
9. ナカジロナミシャク
10. フタテナカジロナミシャク *Dystroma*  
*cinereata* Moore
- 11. キマダラオオナミシャク *Gandaritis fixseni*  
Bremer
12. ビロードナミシャク
13. フトジマナミシャク
14. キガシラオオナミシャク
15. ソトカバナミシャク
- 16. クロテンカバナミシャク *Eupithecia*  
18. IV. 1985. *emanata* Dietje
17. モンキキナミシャク
- 18. フタトビスジナミシャク *Xanthorhoe*  
*hortensiaria* Graeser

## エダシャク亜科

1. ユウマダラエダシャク
2. ヒョウモンエダシャク
3. クロフオオシロエダシャク
- 4. オオゴマダラエダシャク *Percnia giraffata*  
Guenee
- 5. ゴマダラシロエダシャク *Percnia albimig-*  
*rata* Warren
6. ナカウスエダシャク
7. ウスバミスジエダシャク
8. フトフタオビエダシャク
9. モンシロツマキリエダシャク
10. エグリエダシャク *Fascellina chromataria*  
8月下旬多し。 Walker
11. ハスオビエダシャク
12. エグリヅマエダシャク
13. ソトキクロエダシャク
- 14. カバエダシャク *Colotois pennaria*  
3 exs. 10. XI. 1984. Linnaeus
15. ウスクモエダシャク
16. スカシエダシャク
17. ツマキエダシャク
- 18. コナフキエダシャク *Plagodis pulveraria*  
29. IV. 1968 Linnaeus
19. マエキトビエダシャク
- 20. キバラエダシャク *Garaeus specularis*  
Moore
21. トビカギバエダシャク
22. クロクモエダシャク
- 23. ツマジロエダシャク
- 24. ミヤマツバメエダシャク *Thinopteryx*  
25. VIII. 1984. *delectans* Butler
- 25. シロツバメエダシャク *Ourapteryx*  
*maculicaudaria* Motschulsky  
IX. 1974.
26. コガタツバメエダシャク
- 27. クロミスジシロエダシャク *Myrfeta angelica*  
IX. 1974. Butler
28. ウスキツバメエダシャク
29. マエキオエダシャク
- 30. オオノコメエダシャク *Acrodontis fumosa*  
29. X. 1974) 1967. Prout
- 31. オオトビエダシャク *Duliophyle majuscul-*  
30. VIII. 1984. *aria* Leech
32. オカモトトゲエダシャク
33. モンシロツマキリエダシャク
34. フタテンオエダシャク
35. スジハグルマエダシャク
36. ウストビスジエダシャク
37. ナミスジシロエダシャク
38. クロハグルマエダシャク
- 39. チャエダシャク *Megabiston pulmosaria*  
X. 1984. 多し。 Leech
40. ニセオレクギエダシャク
- 41. ウスゴマダラエダシャク *Metabraxas*  
*paucimaculata* Inoue  
1 ♀. 17. XI. 1984. ロープウェイ山頂駅にて
- 42. ニトベエダシャク *Wilemania nitobei*  
1 ♂. 17. XI. 1984. Nitobe
- 43. シモフリトゲエダシャク *Phigaria*  
10. II. 1985. *sinuosaria* Leech
- 44. チャオビフユエダシャク *Phigariohybernia*  
14. III. 1985. *fulvinfula* Inoue
45. シロテンエダシャク
- 46. フトオビエダシャク *Hypomecis crasses-*  
29. IV. 1968. *trigata* Christoph
- 47. チャマダラエダシャク *Elphos insueta*  
1 ♀. 8. VIII. 1985. Butler  
ケーブル山上駅にて。
- 48. コヨツメエダシャク *Ophthalmitis*

## irrorataria Bremer &amp; Grey

1♂. 20. VII. 1968.

- 49. クロズウスキエダシヤク *Lomographa simplicior* Butler

50. ホシミスジエダシヤク

- 51. ヨモギエダシヤク *Ascotis selenaria*  
Denis & Schiffermuller

## アゲハモドキ科

1. アゲハモドキ  
VIIIに多し。

## イカリモンガ科

1. イカリモンガ

## カレハガ科

1. クヌギカレハ  
2. タケカレハ  
3. リンゴカレハ  
4. マツカレハ

## オビガ科

1. オビガ

## ヤママユガ科

## ヤママユガ亜科

1. シンジュサン  
2. ヤママユ  
3. オオミズアオ  
4. クスサン  
○5. ウスタビガ *Rhodinia fugax* Butler

## エゾヨツメ亜科

1. エゾヨツメ

## スズメガ科

1. エビガラスズメ  
○2. メンガタスズメ *Acherontia styx* West-  
wood  
3. クチバスズメ  
4. トビイロスズメ  
5. ホソバスズメ  
6. モモスズメ  
7. サザナミスズメ  
8. シモフリスズメ  
9. クルマスズメ

10. キイロスズメ

11. ピロードスズメ

12. オオスカシバ

13. ホシヒメホウジャク

## シャチホコガ科

1. ハガタエグリチャチホコ  
2. クビワシャチホコ  
3. ルリモンシャチホコ  
4. ホソバシャチホコ  
5. タカサゴツマキシヤチホコ  
6. モンクロシャチホコ  
7. セダカシャチホコ  
8. アオセダカシャチホコ  
○9. ヘリスジシャチホコ *Neopheosia fasciata*  
1 ex. 30. VII. 1969. ケーブル山上駅 Moore  
ケーブル山上駅にて  
○10. ムラサキシヤチホコ *Uropyia meticulodina*  
Oberthur  
1 ex. 2. VIII. 1968. ケーブル山上駅にて。  
11. モンクロギンシャチホコ  
12. ツマアカシャチホコ  
13. ウスイロギンモンシャチホコ  
14. オオネグロシャチホコ  
15. クロシタシャチホコ  
16. アオバシャチホコ  
17. ギンシャチホコ  
18. ヤスジシャチホコ  
○19. エゾギンモンシャチホコ *Spatialia jejoensis*  
Wileman & South Wileman &  
1♂. 18. VIII. 1984. ロープウェー山頂駅にて。  
6 km東の六甲山頂附近にはブナ、イヌブナの原  
生林がある。  
○20. オトビモンシャチホコ *Phalerodonta*  
manlegi Leech  
21. ヒメシャチホコ  
○22. スズキシヤチホコ *Suzukiana cinerea*  
Butler

## ドクガ科

- 1. リンゴドクガ  
2. ブドウドクガ  
3. スカシドクガ  
○4. キアシドクガ  
5. シロオビドクガ  
6. マイマイガ

- 7. ミノモマイマイ
- 8. カシワマイマイ
- 9. キドクガ
- 10. エルモンドクガ *Arctornis I-nigrum*  
25. VIII. 1984. Muller
- 11. ドクガ *Euproctis subflava* Bremer

## ヒトリガ科

## コケガ亜科

- 1. マエグロホソバ *Conilepia nigrocosta*  
15. IX. 1967. Leech
- 2. スジベニコケガ
- 3. ヨツボシホソバ
- 4. ベニヘリコケガ

## ヒトリガ亜科

- 1. スジモンヒトリ
- 2. クワゴマダラヒトリ
- 3. シロヒトリ
- 4. ベニシタヒトリ

## ヤガ科

## ウスベリケンモン亜科

- 1. ウスベリケンモン
- 2. キバラケンモン

## ケンモンヤガ亜科

- 1. リンゴケンモン
- 2. シマケンモン
- 3. アミメケンモン *Lophonycta confusa*  
2. VI. 1968, 25. VIII. 1985. Leech
- 4. シロモンケンモン *Plataplecta*  
27. VIII. 1967. albistigma Hampson
- 5. イチモンジキノコヨトウ

## タバコガ亜科

- 1. タバコガ
- 2. オオタバコガ *Helicoverpa armigera*  
1 ♀. 22. X. 1967. Hubner
- 3. ニセタバコガ *Heliothis fervens* Butler  
1 ♂. 5. VIII. 1967.

## モンヤガ亜科

- 1. タマナヤガ
- 2. カブラヤガ
- 3. クロクモヤガ

- 4. カバスジャガ
- 5. オオバコヤガ
- 6. ウスイロアカフヤガ
- 7. シロモンヤガ
- 8. ハコベヤガ
- 9. キシタミドリヤガ
- 10. カギモンヤガ
- 11. ウスイロカバスジャガ

## ヨトウガ亜科

- 1. シロシタヨトウ
- 2. ヒメムラサキヨトウ
- 3. カバキリガ
- 4. ウスベニキリガ *Orthosia edermarki*  
1 ♂. 21. IV. 1968. Bryk
- 5. フタオビキヨトウ
- 6. ウラギンキヨトウ
- 7. スジシロキヨトウ
- 8. ナカスジキヨトウ *Senta flammea* Curtis  
1 ♀. 10. IX. 1967.
- 9. アワヨトウ
- 10. ヨトウガ
- 11. キミヤクヨトウ
- 12. クサシロキヨトウ
- 13. ケンモンキリガ
- 14. キンイロキリガ
- 15. オオフタオビキヨトウ *Mythimna grandis*  
1 ex. 8. VIII. 1985. ローブウェ Butler  
イ山頂駅にて

## セダカモクメ亜科

- 1. テンスジキリガ
- 2. キマエキリガ *Hemiglaea costalis*  
17. XI. 1984. Butler
- 3. ホシオビキリガ *Conistra unimacula*  
2 exs. 17. XI. 1984. Sugi
- 4. キトガリキリガ *Telorta edentata* Leech  
1 ♂. 26. XI. 1967.  
♂♂. 8. XI. 1984.
- 5. ノコメトガリキリガ *Telorta divergens*  
1 ♂. 16. XI. 1967. Butler
- 6. アオバハガタヨトウ *Antivaleria viridimacula* Graeser  
1 ♂. 29. IX. 1967.
- 7. ハイイロセダカモクメ *Cucullia maculosa*  
1 ♀. 10. IX. 1967. Staudinger
- 8. ケンモンミドリキリガ (ミドリケンモン)

## Daseochaeta viridis Leech

2♂. 8. XI. 1984. ロープウェイ山頂駅にて。

- 9. ホソバハガタヨトウ *Magenephria funestra*

1♂. 10. XI. 1984. Leech

ロープウェイ山頂駅にて。

- 10. アヤモクメキリガ *Xylena fumosa* Butler

17. XI. 1984.

- 11. スギタニモンキリガ *Sugitania lepida*

1 ex. 17. XI. 1984. Butler

- 12. ヘーネアオハガタヨトウ *Isopobia hoenei*

4 exs. 8. XI. 1984. Boursin

ロープウェイ山頂駅にて。

- 13. オオハガタヨトウ *Blepharita melanodonta*

1♀. 4. XI. 1985. Hampson

## カラスヨトウ亜科

1. シロホシキシタヨトウ
2. ウスキシタヨトウ
3. クロモクメヨトウ
4. シロスジアオヨトウ
5. モクメヨトウ
6. ハスモンヨトウ
7. ヒメサビスジヨトウ
8. シロモンオビヨトウ
9. オオシマカラスヨトウ
10. カラスヨトウ
11. シロスジカラスヨトウ
12. オオウスツマカラスヨトウ
- 13. モンオビヒメヨトウ *Dysmilichia gemella*  
1♂. 15. IX. 1967. Leech
- 14. ムラサキツマキリヨトウ *Callopietria juvenina*  
1♂. 5. IX. 1967. Stoll
- 15. ヒメツマキリヨトウ *Callostria duplicans*  
1♂. 3. VIII. 1968. Walker
16. コマルモンシロガ
- 17. ハジマヨトウ *Bambusiphila vulgaris*  
3. VIII. 1968. Butler
- 18. アミメツマキリヨトウ *Callopietria aethiops*  
26. V. 1968. Butler
- 19. ハルタギンガ *Chasminodes albonitens*  
Bremer
- 20. キスジウスキヨトウ *Archanara sparganii*  
Esper

## フサヤガ亜科

1. フサヤガ
2. ナンキンキノカワガ

3. リュウキュウキノカワガ

4. キノカワガ

## リング亜科

- 1. ミドリリング *Clethrophora distincta*  
1♂. 30. VIII. 1984. Leech
- ロープウェイ山頂駅にて。
2. ギンボシリング

## コヤガ亜科

1. ウスアオモンコヤガ
2. フタトガリコヤガ
3. ニセシロフコヤガ

## キンウワバ亜科

1. ワイギンモンウワバ
2. ギンモンシロウワバ
3. セアカキンウワバ
4. タマナギンウワバ
5. イネキンウワバ
6. キクキンウワバ
7. イチジクキンウワバ

## シタバガ亜科

- 1. オニベニシタバ *Catocala dula* Bremer
- 2. シロシタバ *Catocala nivea* Butler
- 3. カバフキシタバ *Catocala mirifica* Butler  
1♀. 16. VIII. 1984. 1♀. 18. VIII. 1984.  
1♀. 9. VIII. 1985. 3頭ともにロープウェイ山頂駅にて。
4. マメキシタバ
5. アミメキシタバ
6. キシタバ
7. コガタキシタバ
- 8. クロモンシタバ *Ophiusa tirhaca* Cramer  
1♀. 10. IX. 1967. ロープウェイ山頂駅にて
- 9. コヘリグロクチバ (コヘリグロシタバ)  
*Ophiusa olista* Swinhoe
10. ムラサキアシプトクチバ
11. オオウンモンクチバ
12. モンムラサキクチバ
13. フクラスズメ
14. ハグルマトモエ
15. カギバトモエ
16. オオトモエ

クチバ亜科

- 1. ヒメクビグロクチバ *Lygephila recta*  
Bremer
- 2. カクモンキシタバ *Chrysothrum amatum*  
Bremer & Grey
- 3. アカキリバ *Anomis mesogona* Walker
  - 4. オオエグリバ
  - 5. アカエグリバ
- 6. ヒメアケビコノハ *Othreis fullonia* Clerk  
1♀. 10. IX. 1967. ローブウェイ山頂駅にて
- 7. アケビコノハ
- 8. ルリモンクチバ
- 9. アカテンクチバ
- 10. ハガタクチバ (オオシラフクチバ)  
*Deddala lucila* Butler
- 11. ナカジロシタバ *Aedia leucomelas* Linnaeus
- 12. マダラエグリバ
- 13. オビマダラアツバ *Raparna roseata*  
Wileman & South
- 14. クロキシタバ
- 15. コウンモンクチバ
- 16. オオアカキリバ *Anomis commoda* Butler

アツバ亜科

- 1. ホシムラサキアツバ *Bomolocha nigrobasalis*  
Herz
- 2. ヤマガタアツバ

クルマアツバ亜科

- 1. ハナマガリアツバ *Hadennia incongruens*  
Butler
- 2. シロテンムラサキアツバ *Paracolax pryeri*  
Butler
- 3. トビスジアツバ *Herminia tarsicrinalis*  
Knoch
- 4. オビマダラアツバ *Raparna roseata*  
Wileman & South

トラガ科

- 1. ベニモントラガ
- 2. ヒメトラガ

おわりに

目録の発表には学名を列記するのが常識であるが、肉体的、時間的な限界を感じたこともあり、まことに雑に和名を並べて汗顔のいたりである。

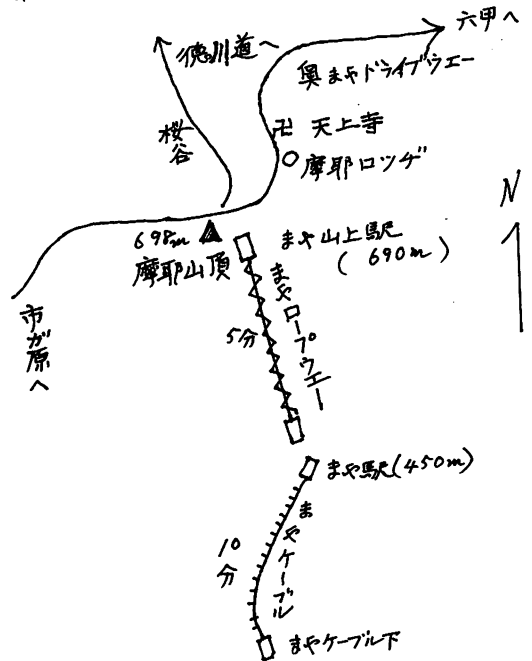
少壮の学者である田中蕃氏、遊磨正秀氏の記録に対し、私が数十種を加えたといさゝか自負はしたが、私の少ない経験から見ても蛾の飛来状況は年毎にかたよりがあり、田中氏が数十種を得られた月、日でも他の年には別のグループの蛾が優勢となり、田中氏の得た蛾が一頭も見られず、彼の見なかった蛾を私を得ることも当然である。

又私の標本の大半は十数年以前のものであり、参考とした田中、遊磨氏の目録も古いものであり、その後の私の浅学から知らないのが新人の参考には不十分なので申しわけない。将来時間が許せば1980年以後の六甲、摩耶山の記録を集積したく同好者の御協力を願います。

いろいろ御指導、同定、コピーを頂いた田中蕃氏、遊磨正秀氏、他諸兄に感謝申し上げるとともに、本誌の諸兄からも御叱正、御指導頂くことを希望します。

1985年 12月

摩耶山案内図



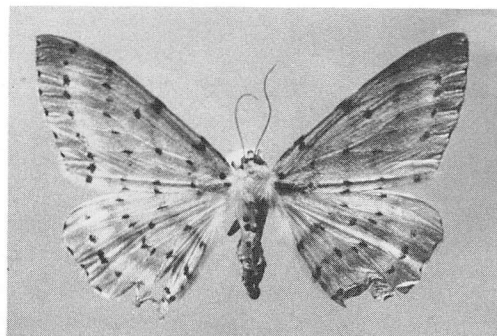


写真1. ウスゴマダラエダシャク, ♀ 開張: 59mm  
エダシャク亜科 41

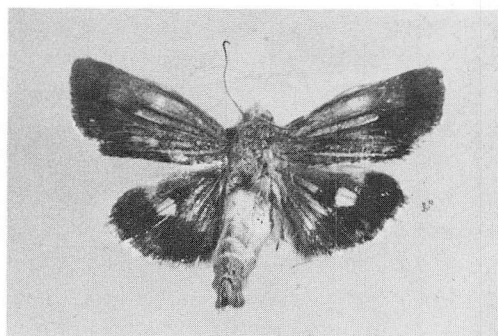


写真5. ニセタバコガ, 開張: 27mm  
タバコガ亜科 3

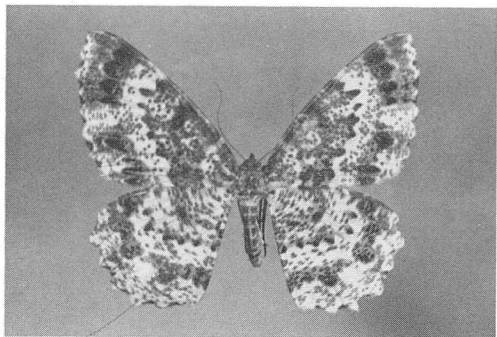


写真2. チャマダラエダシャク, ♀ 開張: 63mm  
エダシャク亜科 47

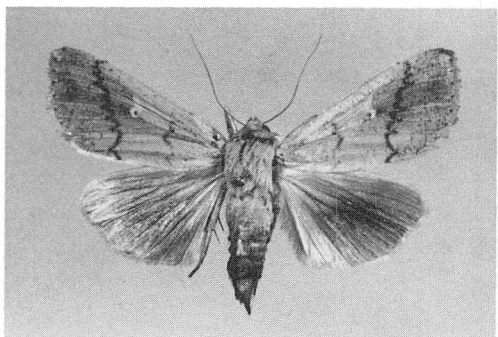


写真6. オオフタオビキヨトウ, 開張: 48mm  
ヨトウガ亜科 15

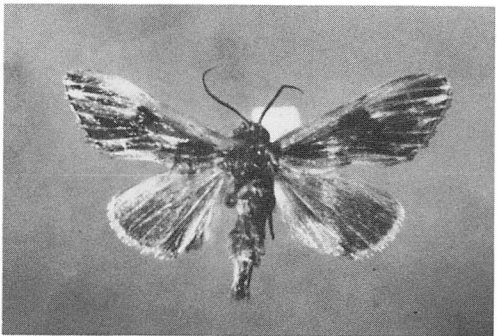


写真3. エゾギンモンシャチホコ, 開張: 32mm  
シャチホコガ科 19

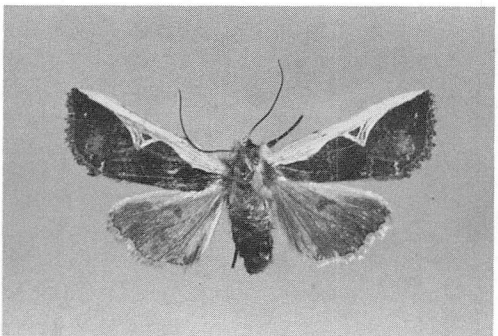


写真7. キマエキリガ, 開張: 30mm  
セダカモクメ亜科 2

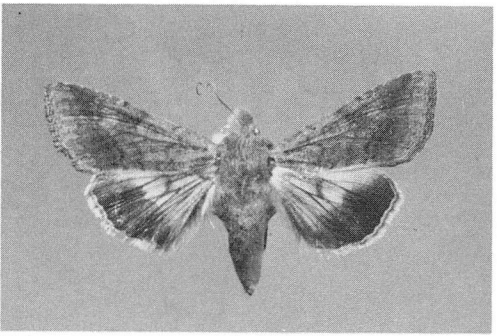


写真4. オオタバコガ, 開張: 36mm  
タバコガ亜科 2

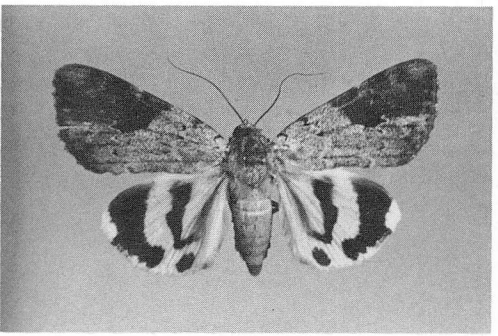


写真8. カバフキシタバ, ♀ 開張: 55mm  
キシタバガ亜科 3



## 参考文献

- 1) 日本産蛾類大図鑑 I、II：講談社
- 2) 原色日本蛾類図鑑上、下：保育社
- 3) 原色昆虫大図鑑 I（蝶蛾篇）：北隆館
- 4) 六甲の自然：神戸新聞出版センター。  
10. IX. 1982発行
- 5) 田中蕃：神戸摩耶山に産する大蛾類、佳香蝶  
(KAKOCHO) Vol. 19 No.71. Nov. 1967.
- 6) 田中蕃：神戸市摩耶山に産する若干の蛾類、蛾類  
通信No.45. 1966.
- 7) 遊磨正秀：六甲山地地域の蛾類 I、II、きべりはむ  
し、1973.
- 8) 遠山雅夫、遊磨正秀、松本健嗣：兵庫県の蛾 (I)  
、(II)、きべりはむし、1975.
- 9) 新家勝：宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(その1、  
その2、その3、続報その1、続報その2) き  
べりはむし、1981~1983.
- 10) 松本健嗣：神戸市山田町の蛾数種、その続報 I、  
続報 II、きべりはむし、1981~1983.
- 11) 松本健嗣：神戸・明石近海地域の主な蛾(その1)、  
きべりはむし、1983.
- 12) 芦田久、佐藤彦：西宮市角石町で採集した蛾類数  
種の記録、きべりはむし、1981. 他数篇の採集  
御報告例、
- 13) レクリエーションマップ：神戸市市民局生活部市民生  
活課市民レクリエーション係。

(〒658 神戸市

岡村八郎 ☎神戸(078)851-

Hachiro Okamura

## アブラムシの分泌物を吸う蝶2例

広畑政己

幼虫がアブラムシの分泌物を食べて成長する種には  
ゴイシジミやクロシジミなど数種が知られているが、  
成虫がアブラムシの分泌物を吸う行動については報告  
を聞かないので記録として書き留めておきたい。

分泌物を吸っていたのは、キタテハとサトキマダラ  
ヒカゲの2種で、1983年5月29日に神崎郡市川町上牛  
尾にてウメのアブラムシの分泌物を吸っているのを目  
撃した。両種は吸汁をする習性を持っている種なので、  
珍しくはないのかもしれないが、これまでに観察をし  
たことがないので報告をした次第である。

(S28: Masami Hirohata 〒671-22 姫路市 )

## 昆虫館だより ⑧

千種川グリーンライン昆虫館

館長 内海 功一

'84年の夏から秋にかけて近辺の直翅類の一部  
に関心を寄せてみた。宍粟郡の高地路辺の陽光  
地ではハネナガフキバッタがよく目につくが、  
ほかに、ミヤマフキバッタも山地では特に多い  
ものである。ところが、後者をさらに翅のよう  
すなどの外観上から調べてみると、やはり、場  
所により変異のあるものが見つかった。

ところで、『信州の秋に鳴く虫とそのなかま』  
を参考書としてみると、普通種としてはヤマト  
フキバッタといわれるものであり、ほかに、ミ  
カド・コンゴウといったものがいた。

これらの食草はヤマトの場合は案外多食性で、  
当地の庭でもキク・ノコンギク・ギボウシなど  
を食べており、館内飼育ではヨモギで時期外れ  
をつくったこともあるが、ミカドやコンゴウ、  
それにヤマトを含めてクズ・タニウツギが好物  
のようで、特にコンゴウの場合はタニウツギ専  
食といってもよいぐらいである。以前に同地で  
幼虫がタニウツギの葉上に群がっていたのを見  
たが、今度のことで、ヤマトでなかったことが  
納得できた。

タニウツギは分布上から日本海側に多いもの  
の、播磨では相当南部まで見られる特異分布と  
なっているが、やはり、宍粟の奥地の谷程多く  
て、これを食草とする虫達もそれに相まったの  
分布と思われる。ちなみに、これらは、おおか  
たのバッタと違いイネ科の方は好まないようで  
ある。

つぎに、山地のツユムシはエゾが主であるこ  
と、千種町でコバネヒメギスを見たこと、小さ  
くは、船越山中でコバネヒシバッタを見たこと  
など、これからの課題が多くできた。

(60. 6. 15)

(S08: Kōichi Utsumi 佐用郡南光町船越)